

平成 27 年度事業報告書の付属明細書

1 精神文化の研究及びその成果の公開

(1) 精神文化の研究

ウ 創業者及び研究所関連資料の研究・調査

沿革史資料の整理作業は、データベース登録点数 23,120 点になりました。それとは別に、書簡 15,102 点、葉書 4,563 点まで登録しました。

研究・調査の一環として、次に掲げた各機関等へ出張しました。

出張先	時期
・ 港北図書館	4月1日、4月30日、6月4日、6月11日、6月12日、6月25日、8月4日、10月22日、11月13日
・ 早稲田大学	4月7日、10月21日
・ 三井記念美術館	4月10日
・ 東急電鉄株式会社本社	4月14日
・ ノリタケの森・大倉公園	5月8日
・ 三井倶楽部	5月20日
・ 港北区役所	6月4日、6月30日、9月11日
・ 慶応義塾大学（日吉）	6月6日
・ 国立国会図書館	6月19日
・ 新羽小学校	7月11日
・ 港北水再生センター	7月13日
・ 横浜市交通局川和車両基地	7月28日
・ 川和遊水地	7月28日
・ 歙成院	7月29日、8月19日、9月1日
・ 横浜都市発展記念館	8月7日
・ 横浜開港資料館	8月7日
・ 横浜アリーナ	9月7日
・ 報徳博物館	10月1日
・ 慶応義塾大学（三田）	10月7日
・ 新田地区センター	10月8日
・ 綱島飯田家	10月20日
・ 桜美林大学	10月21日
・ 日吉の森庭園美術館	11月6日
・ アネックスホール	11月12日
・ 渋沢史料館	11月19日、12月19日
・ 愛知大学	12月6日
・ パートナー産業株式会社	12月11日

・日本図書館協会	12月11日
・国際ベンガル学会第4回大会	12月12日、12月13日
・港北公会堂	12月17日
・霞山会館	1月8日
・とうよこ沿線編集室	3月25日

(2) 精神文化研究成果の普及

ア 講演会等の開催

(ア) 大倉山講演会（共催：第69回から71回までと73回は横浜市大倉山記念館指定管理者、会場：横浜市大倉山記念館ホール）

回	開催日	演題	講師	参加人数
第69回	4月18日	戦前の幼児教育 －大倉邦彦と富士見幼稚園を中心に－	大岡紀理子 大岡ヨト	30人
第70回	5月16日	放送90年 教育番組の不易と流行	宇治橋祐之	21人
第71回	6月20日	横浜の庶民教育 －手習塾から小学校へ－	石山秀和	36人
第72回	11月5日	港北の昔ばなしと歴史	平井誠二	45人
第73回	3月19日	渋沢栄一思想と 公益的事業への貢献	見城悌治	80人

(イ) 公開講演会（共催：愛知大学 会場：横浜市大倉山記念館ホール）

回	開催日	演題	講師	参加人数
第13回	7月4日	国際感覚を育む「現地主義教育」 －愛知大学現代中国学部取り組み－	阿部宏忠	42人

公開講演会（共催：岡倉天心市民研究会 会場：横浜市大倉山記念館ホール）

回	開催日	演題	講師	参加人数
第1回	12月5日	岡倉覚三・天心と弟・由三郎	清水恵美子	58人

(ウ) 港北図書館友の会主催講演会（協力：公益財団法人大倉精神文化研究所 会場：港北図書館会議室）

開催日	演題	講師	参加人数
6月28日	大豆戸の棟梁に聞く －日本建築と大工道具－	武田信治	54人

7月26日	戦後70年 横浜大空襲とわたしの戦中戦後	小野静枝	38人
-------	----------------------	------	-----

イ 資料の展示

(ア) 研究所資料展

回及び開催場所	開催時期	テーマ	入場者数
第29回研究所資料展 (附属図書館)	5月7日～7月18日 (53日間)	新発見！タゴールの自筆資料	1,195人
第30回研究所資料展 (附属図書館)	7月28日～9月26日 (43日間)	大倉山の海軍気象部 —研究所所蔵資料に見る70年前の戦争—	1,133人
第31回研究所資料展 (附属図書館)	11月3日～12月25日 (38日間)	港北の昔ばなしと紙芝居展	1,508人
第32回研究所資料展 (大倉山記念館第7集会室)	11月4日～11月5日 (2日間)	大倉山記念館の今昔展	—

(イ) 企画展示会 (共催：港北図書館・港北図書館友の会 会場：港北図書館)

開催時期	開催場所	テーマ	入場者数
4月2日～4月30日 (28日間)	港北図書館	港北区のシンボル —大倉山記念館の30年展—	—
6月13日～6月28日 (15日間)	港北図書館	棟梁の知恵と愛用の大工道具展	—

ウ 印刷物の編集及び発行

研究紀要『大倉山論集』第62輯 (A5判 327頁 600部 28年3月刊行)

特集 教育を多角的に考える

特集にあたって

手習師匠による往来物の執筆について

—生麦村関口東園著『孝行萌草』の校正—

昭和初期の保育の実際に関する一考察

—大倉邦彦の教育理念と特別活動的視点—

放送90年 教育番組の不易と流行

大倉邦彦と富士見幼稚園二〇年のあゆみ

—戦前・戦中の私立幼稚園の資料から—

論説

大名榊原家文庫本『出雲国風土記』と榊原忠次

維新政府の嵯峨実愛

江戸前期のある旗本の財政状況についての考察—幕府高家吉良義央の場合—

覚書

語りの中の木戸孝允

大正十三年(一九二四)のタゴール来日について—第二十九回研究所資料展の報告を兼ねて—

資料紹介

公益財団法人大倉精神文化研究所

石山秀和

大岡紀理子・大岡ヨト

宇治橋祐之

林宏美

高橋周

刑部芳則

小林輝久彦

堀口修

小田真裕

栄力丸漂流記「東西異聞 天」複写版の翻刻（部分）と解題	茂住實男
図書館貴重コレクション「北島亘寄贈書」 —ユニテリアン研究・ロータリークラブ研究のために— 受贈図書一覧 所報	小田真裕

2 地域における歴史・文化の研究及びその成果の普及

(1) 連携事業

横浜市大倉山記念館指定管理者、愛知大学、港北図書館、岡倉天心市民研究会、国際ベンガル学会第4回大会日本委員会の5団体・機関と連携して、講演会の開催や資料の貸し出し等をしました（前掲分は省略）。

12月12日～13日 国際ベンガル学会第4回大会 タゴール関連資料の展示

(2) 講師派遣（他機関・団体からの依頼講演・授業等）

【日本保育学会第68回大会】

5月9日 戦前の富士見幼稚園における保育内容 林宏美（共同発表）

【新羽小学校土曜塾】

5月9日 わら蛇作りの歴史を学ぶ 平井誠二

【横浜市青葉区郷土史の会】

5月14日 鶴見川流域の舟運について 平井誠二

【港北区地域振興課】

5月28日 港北の昔話を知ろう 平井誠二

【新羽小学校土曜塾】

8月1日 パネルによる鶴見川の歴史解説 平井誠二

【横浜市篠原地区センター】

8月11日 戦後70年わがまち港北の戦争 平井誠二

【株式会社ブレインテック】

11月12日 専門図書館の可能性
～80年目の発見と新たな試み～ 平井誠二

【港北区区政推進課】

11月14日 日吉地域の歴史、松の川緑道について 平井誠二

【港北区区政推進課】

12月12日 綱島地域の歴史、南北の名主について 林宏美

【横浜市中央図書館】

12月16日 全てには役割が。無駄な存在は何もない。 平井誠二

【港北区地域振興課】

1月29日 小机城・篠原城の歴史と魅力はこれだ！ 平井誠二

【東洋大学浦水会神奈川支部】

2月20日	大倉邦彦と東洋大学との関係について	平井誠二
【港北区区政推進課】		
2月27日	横浜市大倉山記念館について	平井誠二
【朝食会】		
3月18日	地域を知る 郷土を愛する	林宏美

(3) 依頼原稿の執筆

『楽・遊・学』港北区区民活動支援センター情報紙、連載「シリーズわがまち港北」に執筆

第196回	(4月1日)「球春到来！！—港北区と野球の関係・その1—」	林宏美
第197回	(5月1日)「城郷地区—地域の成り立ち、その6—」	平井誠二
第198回	(6月1日)「公園と植物と愛護会」	平井誠二
第199回	(7月1日)「新吉田・新吉田あすなる地区—地域の成り立ち、その7—」	平井誠二
第200回	(8月1日)「大倉山への資料疎開よもやま話—終戦秘話その19—」	林宏美
第201回	(9月1日)「歓成院裏の防空壕—終戦秘話その20—」	平井誠二
第202回	(10月1日)「高田地区—地域の成り立ち、その8—」	平井誠二
第203回	(11月1日)「雷鳴石と神威石」	平井誠二
第204回	(12月1日)「青山学院大学綱島総合グラウンド—港北区と野球の関係・その2—」	林宏美
第205回	(1月1日)「樽町地区—地域の成り立ち、その9—」	平井誠二
第206回	(2月1日)「芝浦工業大学野球場と国鉄スワローズ合宿所—港北区と野球の関係・その3—」	林宏美
第207回	(3月1日)「綱島地区—地域の成り立ち、その10—」	平井誠二
	『神奈川新聞』10月23日	
	「海軍気象部をテーマに 関心高く、遠方から来訪も」	林宏美

(4) 調査協力・記事掲載

大倉精神文化研究所や大倉山記念館、港北区に関する記事執筆の調査に協力し、その結果、次の雑誌・新聞・ウェブ等に掲載されました。

- ・『地方史研究』4月号、8月号、10月号、12月号、2月号
- ・『タウンニュース』5月6日、8月13日、12月10日、12月24日、1月1日、2月25日、3月3日
- ・『インド通信』6月1日号
- ・『神奈川新聞』6月5日、6月16日、6月30日、3月15日

- ・『六稜科学』 6月6日号
- ・『週刊仏教タイムス』 6月11日、3月10日
- ・『ぱど』 6月12日号
- ・『日本経済新聞』 7月31日
- ・『朝日新聞』 8月28日、12月2日、3月16日
- ・『産経新聞』 8月28日、12月4日
- ・『毎日新聞』 9月7日
- ・『日本歴史』 9月号、10月号、2月号
- ・『水マス推進サポーター通信』 1号
- ・東急沿線情報サイト「とくらく」
- ・インド通信の催し物ガイド
- ・夢ラボ・図書館ネットワーク「図書館利用推進プロジェクト 横浜・鎌倉版」10月9日
- ・『定年時代』 11月号
- ・『ヨコハマよみうり』 11月号
- ・『SORA』 12月号「SORA 気象アーカイブズ Vol. 9 発掘 海軍気象部の暗号解読班」
- ・『MUGEN』（新生紙パルプ商事株式会社社内報）2月20日
- ・ウェブマガジン「はまれぼ.com」
「85年以上も続く大倉山梅林の歴史とは？」2月24日
- ・『日刊スポーツ』大倉山観梅会特別号、2月
- ・横浜日吉新聞
「区の無料情報紙「楽・遊・学」、3月号の人気コラムで綱島の長い歴史を解説」3月8日

(5) 見学案内

港北区民ミュージカル	7月18日
図版研究会	8月14日
日産スタジアム一行	9月19日
日吉台地下壕保存の会	11月8日
大倉洋紙店OB	11月24日
横浜郷土史団体連絡協議会	12月4日

3 附属図書館の運営及び図書資料の整備・充実等

(1) 図書館の公開

【27年度図書館利用の実績】

開館日数	入館者数	開架図書貸出冊数	閉架図書閲覧冊数	複写枚数
247日	8,109人	6,063冊	401冊	1,531枚

- ・蔵書検索アクセス数：284,005 件
- ・図書館貸出カード登録者数：276 人（累計 925 人）
- ・レファレンス件数：49 件

(2) 資料の収集

【27 年度受入図書実績】

受入冊数	閉架図書		開架図書	
	購入	寄贈	購入	寄贈
347 冊	147 冊	200 冊	970 冊	836 冊
				134 冊

27 年度末蔵書冊数：図書・A V 資料総数：103,587 冊・点

(閉架書庫 81,321 冊・A V 資料 195 点・開架図書 21,763 冊)

(3) 図書館の P R

ア ホームページの活用その他

- ① 「図書館パンフレット」3,000 部作成・配布
配布先：館内・大倉山駅構内・見学会・関係団体
- ② H P の適宜更新、研究所ツイッターに図書館情報を随時更新
- ③ 図書館見学会受け入れ数 17 回 569 人
- ④ J c r o s s ウェブサイト（ブレインテック運営）に、しおり（ブックマーク）の紹介
- ⑤ 日本最大の図書館検索サイト「カーリル」に当館情報を紹介
- ⑥ 夢ラボ・図書館ネットワーク W e b サイト「図書館利用推進プロジェクト横浜・鎌倉版」に、港北図書館とともに紹介文掲載
- ⑦ 第 17 回図書館総合展事例発表「専門図書館の可能性」
- ⑧ その他
 - ・ 4 月 28 日 港北図書館友の会へ書籍寄贈 100 冊
 - ・ 5 月 1 日～10 月 31 日 鶴見川スタンプラリーに協力
 - ・ 2 月 28 日 大倉山観梅会につき臨時開館（日曜日）

イ 収蔵資料の紹介展示

(ア) 資料展示（館内展示ケース）

	タイトル	期 間	入場者数
第 14 回	貴重コレクションを探るシリーズⅠ 『旧制高等学校文庫』	4 月 1 日～30 日	599 人
第 15 回	貴重コレクションを探るシリーズⅡ 『道歌 百人一首』	1 月 15 日～3 月 17 日	2,149 人
第 16 回	貴重コレクションを探るシリーズⅢ 『道歌 百首』	3 月 18 日～31 日	280 人

(イ) ミニ展示 (館内ブックトラック、貸出カウンター横テーブル)

タイトル	期 間	入場者数
大倉山講演会関連 『学芸員と博物館と展覧会と』	4月1日～4日	144人
大倉山講演会関連 『子どもへのまなざし』	4月7日～30日	455人
大倉山講演会関連『学び方の行方』	5月9日～6月6日	472人
大倉山講演会関連 『江戸から明治へ、寺子屋から小学校へ』	6月9日～26日	315人
愛知大学との共催による公開講演会関連 『国際感覚を育てる現地主義教育』	7月4日～7月25日	443人
第30回研究所資料展「大倉山の海軍気象部」 関連選書『神奈川と戦争』	7月28日～10月3日	1,138人
『タゴールを味わう』(サタジット・レイ監督 “チャルラーダ”の原作展示)	9月1日～10月31日	1,096人
『昔噺あれこれ』	10月30日～11月10日	717人
図書館ワークショップ関連 『読書ノートをつくろう』	11月11日～28日	308人
岡倉天心市民研究会講演会関連 『岡倉天心と弟・由三郎』	12月4日～26日	428人
百人一首	1月5日～2月27日	2,018人
大倉山講演会関連 『渋沢栄一思想と公益的事業への貢献』	3月1日～31日	783人

(ウ) 館外展示 (館外展示ケース)

内 容	期 間
バクの流域ワンダーランド 2015・学習スタン プラリー応援展示 『港北の自然と文化を学べる本』	5月1日～10月31日

ウ 図書館ワークショップ等の催事

- ・11月7日 大倉山秋の芸術祭：図書館ワークショップ
「読書ノートを作ろう」15人参加
- ・2月6日 港北区生涯学級「本からつながるひととまち」依頼催事
館内見学会とワークショップ「サイズ自在のブックカバーを作る」17人参加
- ・リユース文庫
大倉山秋の芸術祭期間(11月7日・8日) 148冊提供

観梅会(2月27日・28日) 69冊提供

(4) 修理ボランティアによる作業

- ・毎月第2・4水曜日 計21回開催 延76人参加
- ・活動内容(貴重図書等の保存箱制作:171個 カバー制作:58個 修理:3冊)